

有機農業の理解醸成！！「小田原オーガニックフェスタ」

有機農業の推進と理解醸成を行うため、「小田原オーガニックフェスタ」に出展し、「みどりの食料システム戦略」の周知と、来場者の有機農業に対する意識調査を実施。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、環境保全型農業

○ きっかけ・背景、課題の把握

「小田原有機の里づくり協議会」を中心とした有機農業の取組面積拡大を目指す小田原市に対し、「有機農業産地づくり推進事業」を紹介。

小田原市は、事業を活用したオーガニックビレッジ宣言に向け、有機農業推進の機運を高めることや、消費者に対する有機農業の理解醸成を図ることを目的に、協議会とパルシステムが連携した「小田原オーガニックフェスタ」を開催。

○ 取組の内容

当拠点は、「みどりの食料システム戦略」に係る有機農業への理解醸成と、さらなる推進を図るのためフェスタに参加。

来場者に向けた同戦略のビラ配布と、有機農業に対する意識調査アンケートを小田原市と連携して作成。回答者には協議会に所属する生産者が生産する有機農産物の試供品を配布することで有機農産物のPRを図り、348名の来場者からアンケートの回答をいただいた。

○ 効果・成果、今後の方向性

アンケート結果を見ると、回答者の約8割が普段から有機農産物を購入しているものの、まだまだ販売量と売場が足りないと考えていることが判明。

フェスタへの参加は、今後、有機農業の拡大に向けて、具体的な課題検討のきっかけとなる大きな足掛かりとなった。



オーガニックフェスタのチラシ

みどり戦略のビラ配布

